

高等学校 書道科学習指導案

(第3,4時：書道Ⅲ)

令和4年9月20日(火) 第3,4限

県立上尾南高等学校 3年4,5組

教諭 山崎 慎也

1 単元名：漢字の書「草書の学習」～表現力と鑑賞力を広げる～

2 単元について（学習内容の概要）

草書の学習として、狂草である「自叙帖」を取り扱う。これまで取り組んできた古典と比較しても芸術性が高く表現が難しい古典である。鑑賞・分析し、話し合いを通して書体や古典の特徴について理解する。また、「漢字」のみならず「仮名」や「漢字仮名交じりの書」等の様々な書表現に関連する必要な要素について理解を深め、今後の学習に生かせるよう学習する。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

古典の概要や文字について理解を深め、半切1/2画仙紙にバランスよく臨書する。また、他者の考えを積極的に取り入れながら古典をより上手に臨書するために必要な要素を学び、表現・工夫することができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">漢字の書を構成する様々な要素について理解を深めている。書の伝統を踏まえ、書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。	<ul style="list-style-type: none">主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。

4 生徒観（学習状況の実態）

当該クラスの生徒は、書道Ⅲということもあり表現能力の高い生徒が多く雰囲気も明るく、意欲的に取り組んでいる姿が多い印象である。一方で、集中力が長続きしない生徒や書表現を苦手としている生徒も見られるため、適切な支援・指導をする必要がある。

5 指導計画

時	指導内容等
1～4	「自叙帖」の概要、書かれている文字について理解する。 半紙や半切1/2画仙紙で繰り返し臨書練習をする。
5,6 (本時)	ジグソー活動を用いて具体的に思考し臨書する際に必要な要素を学び、制作時に使用する下敷きを作成する。その活動で学んだことを生かし、清書する。
7,8	半切1/2画仙紙に臨書する。落款を書き押印し、作品を仕上げる。

6 本時の学習について

⇒ 別紙「最終報告書」に詳細記載

令和4年度 埼玉県高等学校初任者研修 授業力向上研修 最終報告書

学校名	埼玉県立上尾南高等学校	教科	書道
		氏名	山崎 慎也

授業日時	令和4年9月20日(火) 3, 4限	教科・科目	書道Ⅲ
学年・年次	3学年	児童生徒数	12名
单元名	「漢字の書(草書の学習)」 ～表現力と鑑賞力を広げる～	本時/この内容を扱う全時数	5, 6/8
教科書及び教科書会社	『書Ⅲ』(光村図書)		

授業のねらい
<p>古典臨書は、書の学習の基本である。臨書を通して「字形」「筆遣い」等を学習し、身に付け自己表現の幅を広げることが必要である。今回の「懷素 自叙帖」は、これまでに取組んだ古典と比べ複雑で表現が難しいと考えられる。そこで今回は、①行の流れ、②字間・行間、③墨量の変化、に着目して考えを深めていく。生徒には「字形」や「文字の大きさ」だけでなく、これまでと違う視点を分析することで深く鑑賞し臨書することの大切さを実感し、書表現する上で大切な要素を理解してほしい。また、それら学習を今後の書の学習に生かし表現の幅をより広げて欲しいと考えている。</p>
<p>メインの課題(授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題)</p>
<p>「書表現に必要な要素」を考え、作品を仕上げよう!</p>
<p>生徒の既有知識・学習の予想</p>
<p>一学期の授業では、行書の学習で「蘭亭序」の全臨をした。思うように表現できない生徒もいたが、筆順や筆法が難しい中で古典と向き合いながら仕上げることができた。草書の学習は2年次に取り組んでおり、臨書力の高い生徒もいる。しかし、今回の「自叙帖」のような芸術性の高い複雑な古典に取り組んだことはないため、思うように作品がまとまらない生徒が多いと考えている。前時では「自叙帖」の概要や字の書き方に重点を置き学習したが、他の点に関しては詳しく触れていない。取組上での主な課題点として「文字の大きさに気を付ける」という生徒が多く見られた。今回の活動や下敷きの作成に取り組むことが初めてのため困難が予想されるが、適宜支援しながら生徒の活動を支援したいと考えている。</p>
<p>期待する解答の要素(本時の最後に生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)</p>
<p>A…右へ流れたり左へ流れたり、行により流れが異なる。 流れがまっすぐに見えても、その中で揺らぎがある。</p>
<p>B…字間→連綿により密接しているところもあれば、字間が広い箇所もある。 行間→文字の大きさにより、行間が狭くなったり広がったりする。</p>
<p>C…行頭で墨継ぎをしていることが多い。書く速度を意識する。墨を濃く磨る。渴筆を表現するために画仙紙の裏を使ったり、墨量が多い時には反古紙を使用し墨量を調整したりする。</p>

各エキスパート＜対象の生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動＞
<p>エキスパート A 「行の流れ」ってどうなっている？ 活 動：①3作品を比較し、行の流れがもたらす効果について考える。 ②各文字の中心をつなぎ合わせることで流れを理解する。 ポイント：行の流れはどの行も真っ直ぐではない。</p> <p>エキスパート B 「字間・行間」を調査してみよう！ 活 動：①3作品を比較し、字間・行間がもたらす効果について考える。 ②各文字の概形を線でつなぎ確認する。 ③字間が“広いところ”“狭いところ”に着目し印をつける。 ポイント：字間・行間に変化が多く見られる。</p> <p>エキスパート C 「墨量の変化」について考えよう！ 活 動：①3作品を比較し、墨量の変化がもたらす効果について考える。 ②臨書箇所の墨継ぎをしている箇所を考える。 ③前回制作した作品を鑑賞し、改善点を調査する。 ポイント：墨継ぎにある程度の規則性が見られる。渴筆（かすれ）が多く見られる。</p>
シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容
制作時に使用する「下敷き」を作成する。 その後、古典の臨書をし、最終的には落款を書き押印し、作品を仕上げる。

〈本時の学習と前後のつながり〉

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	行書の学習「蘭亭序」（1学期）	・「蘭亭序」の特徴を理解し表現することができる。制作作品を和綴じし、完成させることができる。
前時	草書の学習「懐素 自叙帖」①～④	・「自叙帖」の概要、書かれている文字を理解する。 ・臨書活動を通して「字形」「線質」を理解し表現できる。
本時	草書の学習「懐素 自叙帖」⑤、⑥	・細部まで分析し、制作時使用する下敷きを作成。臨書時の鑑賞能力を高め作品制作に生かすことができる。
次時	草書の学習「懐素 自叙帖」⑦、⑧	・半切 1/2 画仙紙に臨書する。落款を書き押印し、作品を仕上げる。
この後	漢字の学習（創作）	・自らの意図に基づいて構想し、創作作品を完成させる。

上記の一連の学習で目指すゴール
古典臨書をする上で、概要の理解や字形の理解のみならず、墨量、行の流れ、行間等、これまでと違う視点にも着目することの重要性を理解させ、作品の完成度を高めると共に鑑賞能力の向上を目指す。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
(事前)	<ul style="list-style-type: none"> 自叙帖を効果的に表現するために気を付ける点を話合う。 	<p>プリントに考えをまとめさせ、最後に自身の取組を振り返り、感想・自己評価を記入させておく。</p>
3限 5分	<p>〈導入〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返り 本時の課題・活動の流れを確認する。 自らの課題を再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席の指示 課題と授業の流れを説明する。 前時に制作した作品を返却し、本時における自身の課題点等を記入させる。
20分	<p>〈エキスパート活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに考え話し合い、理解を深める。 <p>A 「行の流れ」ってどうなっている? B 「字間・行間」を調査してみよう! C 「墨量の変化」について考えよう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【エキスパート活動班】での話し合った内容を次のグループ【ジグソー活動班】で伝えられるように考えをまとめる必要があることを伝える。 話し合いや作業が円滑に進むようサポートする。
25分	<p>〈ジグソー活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 各エキスパート活動でまとめた内容をそれぞれ話し合い、情報を共有する。 それぞれの情報を活用し、話し合いながら下敷きを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各エキスパート活動でまとめた内容をそれぞれ説明し、情報を共有し、下敷きを作成するよう指示する。 作業が円滑に進むようサポートする。
10分	<p>～休憩～（休み時間）</p>	
4限 10分	<p>〈クロストーク活動〉（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作した下敷きについて工夫した点等を発表し合い、聞いた内容を理解しメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> 各班の作成した下敷きをホワイトボードに掲示する。 発表時、各班の良いところを見つけるようにする。
25分	<p>〈実技〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備をし、下敷きを使用して清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈クロストーク活動〉終了後、席はそのままの状態を実技準備をし、下敷きを使用して1枚清書するよう指示する。
15分	<p>〈まとめ・感想記入・片付け〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の課題への取組を振り返り、感想、提出作品の自己評価を記入する。 道具の片付けをする。 作品を提出する。 次時の予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを記入させる。 片付けを指示する。 作品、プリントを提出させる。 「懐素 自叙帖」を仕上げる。落款を書き押印するため、2年次に作った印を持参するよう指示する。

グループの人数や組み方

エキスパート活動：4人×3班（授業開始時から、エキスパート班に分かれて着席）

↓

ジグソー活動：3人×4班

↓

各自で臨書（ジグソー活動班の席のまま）

（参考文献・引用等）

- 「中国法書選 43 唐懷素 自叙帖」（二玄社）
- 「書Ⅰ」（光村図書）
書写資料
- 「書Ⅱ」（光村図書）
升色紙、寸松庵色紙、高野切第一種
- 「書Ⅲ」（光村図書）
傅山、王鐸

《実践後の振り返り》

1. 生徒の学習の評価（授業前後の変化）

(1) 3名の生徒を取りあげて、同じ生徒の授業前と授業後の課題に対する解答がどのように変化したか、具体的な記述を引用し、活動の様子の変化について記す。

生徒	授業前（課題点）	授業後（感想・作品自己評価・改善点）
A	<ul style="list-style-type: none">・文字の大きさ、バランス・線の太さ、曲げ方	<p>・活動前は、文字に重心をおき書けていただけで、バランスや大きさ、中心等が意識できておらず全体として変であった。しかし、この活動により文字のバランスが良くなりました。また、中心を意識することで全体の形が整い少し良くなったと思います。</p>
B	<ul style="list-style-type: none">・文字の大きさ、バランス・最後あたりの文字が小さくなる	<p>下敷きのお陰で、字の幅や行の流れが意識でき、バランス自体は前回よりもきれいにできた。前回と比べて行間も整い、特に最初の文字がきれいに並んでいた。また、字のかすれ方や文字の繋がりも良くなった。次回は今回の出来たことを続けてやり、さらに作品を良くしていきたい。</p>
C	<ul style="list-style-type: none">・文字のバランス	<p>前回と比べると文字のバランスが整った。しかし、文字の中心があまり意識できなかったのが気をつけたい。また、墨の量でかすれる部分がかすれなかったりしたので今後は意識して書きたい。</p>

(2) 生徒の学習の成果について、授業前、授業後に生徒が答えられたことを、先生の事前の想定や「期待する解答の要素」と比べてみた。

授業前には「文字の大きさやバランスに気をつける」「墨の濃さに気をつける」という漠然とした課題点であったが、今回の活動を通して課題に対してより具体的に考えることができ、表現には未だに苦勞しているが前時と比較しても作品の成長が見られた。

欠席が多かったためエキスパート活動Cができず、こちらから課題内容についての説明をしたのみで実技に進んだため、まとめに「墨量」について考えを述べる生徒が少なかった。しかし、前時に比べ墨量を意識している姿が見られたことはよかった。

2. 生徒の学習の評価（学習の様子）

3年生ということもあり、授業の進め方や方法を説明するとすぐ理解し取り組んでくれた。課題に対しても、話合いや作業をグループ内で協力している姿が見られた。想定していたよりも作業を熱心に取り組んだことで後半時間が押してしまったが、最後まで集中して作品を仕上げることができた。

気になった点としては、エキスパート活動の際に他の生徒に頼ってしまったり、発言が少ない生徒、作業が他の生徒より大幅に遅れている生徒が見られた。今後は、声掛けだけでなく、日頃の授業からこういった点を改善できるように生徒と共に取り組みたい。

3. 授業の改善点

生徒の学習の成果や学習の様子を踏まえ、次の3点について授業の改善点を挙げる。

- (1) 授業デザイン（課題の設定、エキスパートの設定、ゴールの設定、既有知識の見積もりなど）
「最終的に作品を仕上げまとめる」というゴールに対して、下敷きを作成に時間がかかり、時間が足りなかった。下敷きを作成し、課題内容を理解しているものの表現することが困難な生徒も見られた。時間内によりよい作品を仕上げるためにも、途中の簡略化も必要であった。
- (2) 課題や資料の提示（発問、資料の内容、ワークシートの形式など）
エキスパート資料に対しての生徒からの質問が多かった。「どんな作業をするのか」を明確にしながら、アドバイスやヒント等を上手く入れ、なるべく生徒同士の話し合いにより問題解決ができるようワークシートを工夫していきたい。
また、エキスパート活動により活動終了時間に差が出てしまったため、同じ時間で終わることができるよう改善したい。
- (3) その他（授業中の支援、授業の進め方など）
生徒の様子をよく確認しながら支援をしたが、生徒へのアドバイスが多く、介入しすぎたのではないかという思いがある。
また、取組に対する時間配分や交流活動に対し、事前の想定や活動設計により創意と工夫を加えたい。

年 組

番 氏名

草書：懐素「自叙帖」の学習

本日のテーマ 「書表現に必要な要素」を考え、作品を仕上げよう！

今日の授業で大切なこと・・・

- ①わからないときはすぐに聞くこと
- ②自分の考えを言葉にして伝えること
- ③班員で協力し合うこと

活動前：本時の自身の課題点（前回を振り返って）



活動後：学んだことを含めての感想・提出作品の自己評価（良い点・改善点）

年 組 番 氏名

草書・懷素「自叙帖」の学習

エキスパート活動A 「行の流れ」ってどうなっている？(20分)

◎左図の三作品を鑑賞・比較し、**行の流れがもたらす作品効果**について班員と意見交換してみよう！

王鐸おうたたく(一五九二〜一六五二)の作品←

書写資料←

画像

(漢字仮名交じりの書)

画像

(漢字の書)

伝紀貫之筆

「寸松庵色紙」



画像

(仮名の書)

【気づいたことを記入しよう！】

☆ここからが本番！

みんなが使用している手本に「各文字の中心●」を全て記し、それらを線で繋いで行の流れを調査しよう！ ※赤ペンを使用すること。

【調査結果のまとめ】

年 組 番 氏名

草書・懷素「自叙帖」の学習

エキスパート活動B 「字間・行間」を調査してみよう！（20分）

◎左図の三作品を鑑賞・比較し、**字間・行間**がもたらす**作品効果**について班員と意見交換してみよう！

王鐸（おうたく一五九二〜一六五二）の作品←

書写資料←

画像

（漢字仮名交じりの書）

伝藤原行成筆
「升色紙」



画像

（仮名の書）

画像

（漢字の書）

【気づいたことを記入しよう！】

☆ここからが本番！

みんなが使用している手本に、「①各文字の字幅を線で繋ぐ」「②字間が**広いところ**」「**狭いところ**」に印をつける「作業を行い、「自叙帖」の字間・行間がどうなっているか調査してみよう

【調査結果のまとめ】（変化しているところがあれば具体的に言葉で表現しよう！）

年 組 番 氏名

草書：懐素「自叙帖」の学習

エキスパート活動C「墨量の変化」について調査しよう！（20分）

◎左図の三作品を鑑賞・比較し、墨量もたらず作品効果について班員と意見交換してみよう！【※潤濁：潤じゆんかつ↓「墨がついているところ」、濁↓「かすれ、ていぶるウジキ」】

傅山ふしん（一六〇七〜一六八四）の作品↑

書写資料↑

画像

（漢字仮名交じりの書）

画像

（漢字の書）

伝紀貫之筆「高野切第一種」↑

画像

（仮名の書）

【気づいたことを記入しよう！】

☆ここからが本番！

みんなが使用している手本に、筆順を確認しながら墨継ぎをしたと思うところに印を付けて墨量の変化を調査してみよう！

☆みんなの作品の「墨」に着目して鑑賞し、「自叙帖」と比較して「墨量」や「墨色」はどうでしょうか。意見を出し合い、改善点を考えてみよう。

【調査結果・改善点のまとめ】

年 組

番 氏名

草書「懷素「自叙帖」の学習

何班か数字を記入すること！

ジグソー活動 () 班 (25分)

各エキスパート活動で分析したことを他の班員に報告しよう！
また、聞いた内容をメモしよう。

○聞いたエキスパート (A・B・C)

「 についての資料

(分析結果)

○聞いたエキスパート (A・B・C)

「 についての資料

(分析結果)

☆話し合った内容を上手に組み合わせて……

下敷きを作成しよう！ (手本に気を付ける点を書き込むことも可。)

☆「下敷き作成にあたり工夫した点」や、ジグソー活動をふまえて「制作時気を付ける点」を班でまとめてみよう。

班のまとめ